

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第14号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月10日 15時45分ごろ	
発生場所	静岡県下田市神子元島灯台から真方位204° 310m付近 (概位 北緯34° 34.4′ 東経138° 56.4′)	
事故等調査の経過	平成22年1月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 わゆう丸、498トン	
船舶番号、船舶所有者等	135920、住友金属物流株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷後部船底外板凹損、擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約2.0m、船尾約3.4mの喫水をもって、神子元島の北側に向かう針路で東進中、当直航海士が同島の南東方向から北西進する3隻の漁船を認め、島の北側での行き会いを回避するよう、急遽、右舵をとって同島の南岸を回る針路に転じたところ、平成21年9月10日15時45分ごろ、船底から衝撃が伝わってきた。</p> <p>船長は、船位を海図に入れて本船が浅所を乗り切ったことを確認し、主機を停止させ、機関室にビルジの流入がないこと、船底タンクに漏えいがないことを確認し、予定の航海を継続した。</p> <p>本船は、同年11月の定期検査の際、船底に損傷が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇、風向 南、風力 2</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	当直航海士は、操舵室のGPSプロッターに神子元島周辺の避険線が描き込まれていたが、同避険線を確認しなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、神子元島沖を同島の北側に向かう針路で東進中、当直航海士が、同島の南岸を回る針路に転じた際、GPSプロッターに表示されていた避険線の確認を行わなかったため、同島の南西方に拡張する浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、神子元島沖を同島の北側に向かう針路で東進中、同島の南岸を回る針路に転じた際、GPSプロッターに表示されていた避険線の確認を行わなかったため、同島南西方に拡張する浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	